

「FXTF_JapanTimeLabel」とは

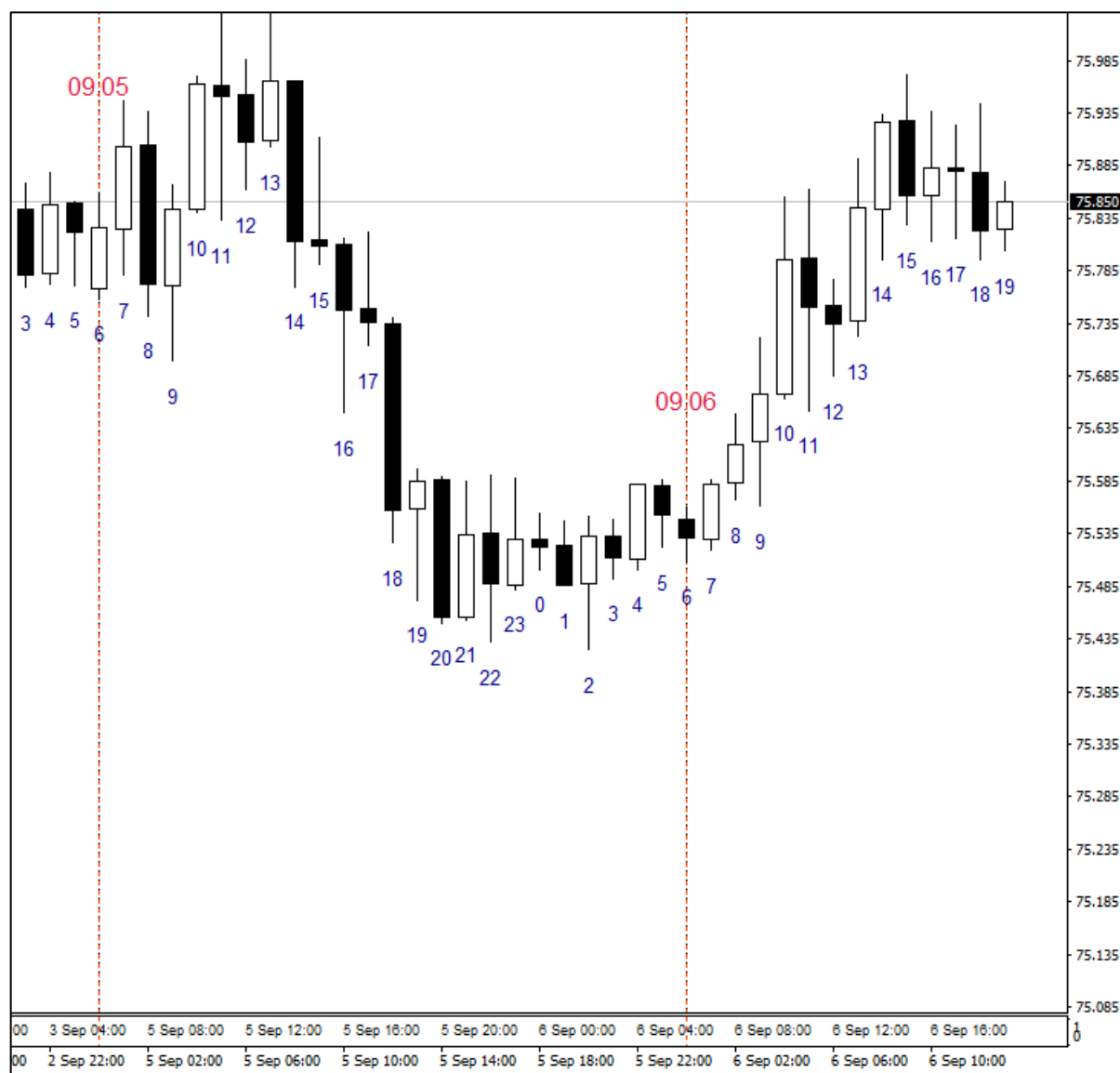
「FXTF_JapanTimeLabel」は、日本時間をローソク足の近くに表示することができる当社オリジナルのインディケータです。フォントサイズやカラーなど、自由にカスタマイズが可能です。

また、期間区切り線を自由に引くことができ、ローソク足の近くに日付ラベルを表示できます。MT4の期間区切り線は時間足ごとに固定（1時間足なら1日ごとなど）で、期間を区切るグリッド（縦のライン）は縮尺に応じて変動しますが、本ツールは時間足別に自由に設定できます。

▼例) 1時間足チャート

ローソク足ごとに時間を表示し、1日ごとに期間区切り線と日付ラベルを表示した例です。

※チャート下部の横軸には「FXTF_JapanTimeLabel」インディケータを表示しています。



「FXTF_JapanTimeLabel」

【機能概要】

- ① ローソク足の近くに日本時間ラベルを表示できる。
※1分足 (M1) ~日足 (D1) に対応しています。**週足 (W1) ・月足 (MN) は非対応**です。
(ラベル表示無し)
- ② 日本時間表示ラベルのフォントサイズやカラー、日時の表示形式をカスタマイズできる。
- ③ 時間足ごとに日本時間を表示する間隔を設定できる。
- ④ 時間足ごとに、期間区切り線 (垂直ライン) を表示できる。期間区切り線の日付ラベルのフォント・カラー・表示する間隔も自由に設定可能。
- ⑤ 各ラインや日時ラベルは個別に表示・非表示設定が可能。
日時ラベルを非表示にして、期間区切り線だけ使うこともできます。
- ⑥ 日付ラベルの表示位置は、ローソク足ごとの日時ラベルは「安値×%」、期間区切り線の日付ラベルは「高値×%」と%を変更して位置を調整可能です。

■ 時間差設定

MT4チャートと日本時間の時間差 (冬: 7時間、夏: 6時間) は外部パラメータで手動で設定する必要があります。

初期設定は冬時間 (パラメータ「TimeDifference」 = standard_7) です。

夏時間のときは手動で夏時間設定に変更が必要です。

(パラメータ「TimeDifference」 = summer_6)

The image shows a sequence of steps to edit the 'FXTF_JapanTimeLabel' indicator in MT4:

- The main menu is open, and '表示中のインディケータ (L)' (Current Indicators) is selected.
- A context menu for '表示中のインディケータ' is shown, with 'FXTF_JapanTimeLabel' selected and '編集 (E)' (Edit) chosen.
- The 'Custom Indicator - FXTF_JapanTimeLabel' dialog box is open, showing the 'パラメータの入力' (Parameter Input) tab. The 'TimeDifference' parameter is highlighted, and its value is changed from 'standard_7' to 'summer_6'.

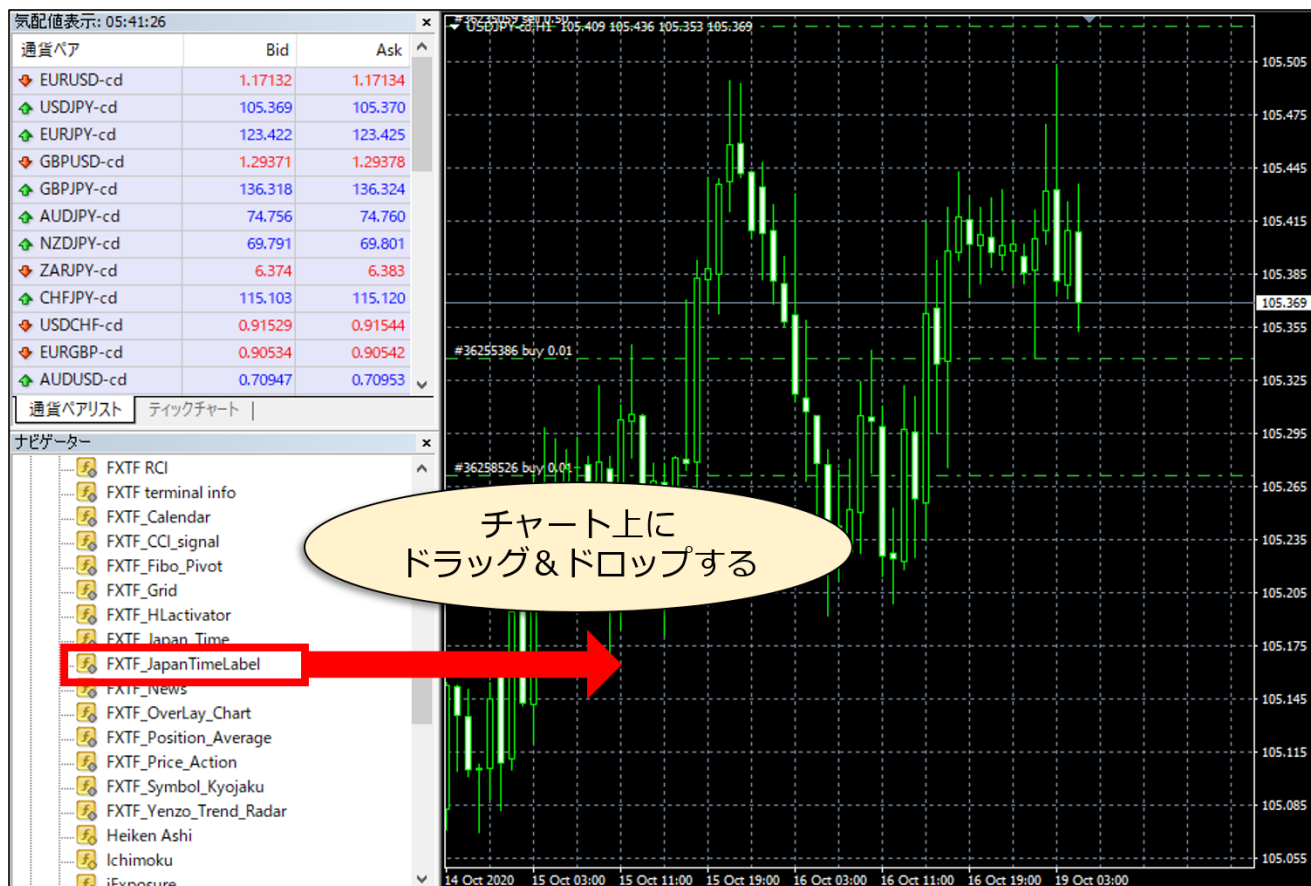
変数	値
TimeDifference	standard_7
M1_Interval	standard_7
M1_TimeLabelText	summer_6
M1_TimeLineInterval	Line_H1
M5_Interval	M5
M5_TimeLabelText	JPMIn
M5_TimeLineInterval	Line_H1
M15_Interval	H1
M15_TimeLabelText	JPHMM
M15_TimeLineInterval	Line_D1

【注意点】

- ①本インディケータでは、「固定の期間間隔でラインを引けること」を重視するため、チャートを縮小（ズームアウト）したりフォントを大きくしすぎた場合などは、ラインや日時ラベルが重なって見づらくなることがあります。
その場合、フォントを小さくしたり、表示間隔を広くするなど個別にパラメータ設定を変更してお使いください。縮小チャート・拡大チャートごとにチャートを設定し、それぞれの定型チャートを保存しておく方法も考えられます。
- ②定型チャートから本インディケータを表示した際など、正しく描画されない場合は、一度時間足を変えてから元に戻したり、インディケータの初期処理が完了するまで一定時間待つなどすれば正しく描画しなおされますので、お試しください。
- ③MT4のチャートスケールや上下幅については上記の関連ページを参照ください。例えば価格の表示範囲を広げたい場合、固定価格で表示範囲を設定するほか、チャート右端の価格目盛りを下方方向にドラッグすれば価格目盛りの幅が小さくなり表示範囲が広がります。チャート下（横軸）の期間目盛りも同様です。
- ④本ツールが追加したラインや日時ラベルなどは、インディケータをチャートから削除する際に全て削除されますが、何らかの理由で残ってしまう場合、スクリプト「FXTF - Delete all Objects」で全削除することも可能です（チャート上の全てのオブジェクトを削除します）。
- ⑤本インディケータはFXTF MT4（PCインストール版）専用です。他社の提供するMT4上では稼動しませんのでご注意ください。また、スマホアプリで使用することもできません。
- ⑥本インディケータは外国為替の通貨ペアでのみ動作します。

「FXTF_JapanTimeLabel」の表示方法

ナビゲーターウィンドウの「インディケータ」から「FXTF_JapanTimeLabel」を選択してチャート上にドラッグ&ドロップまたはダブルクリックすることでチャートに表示できます。

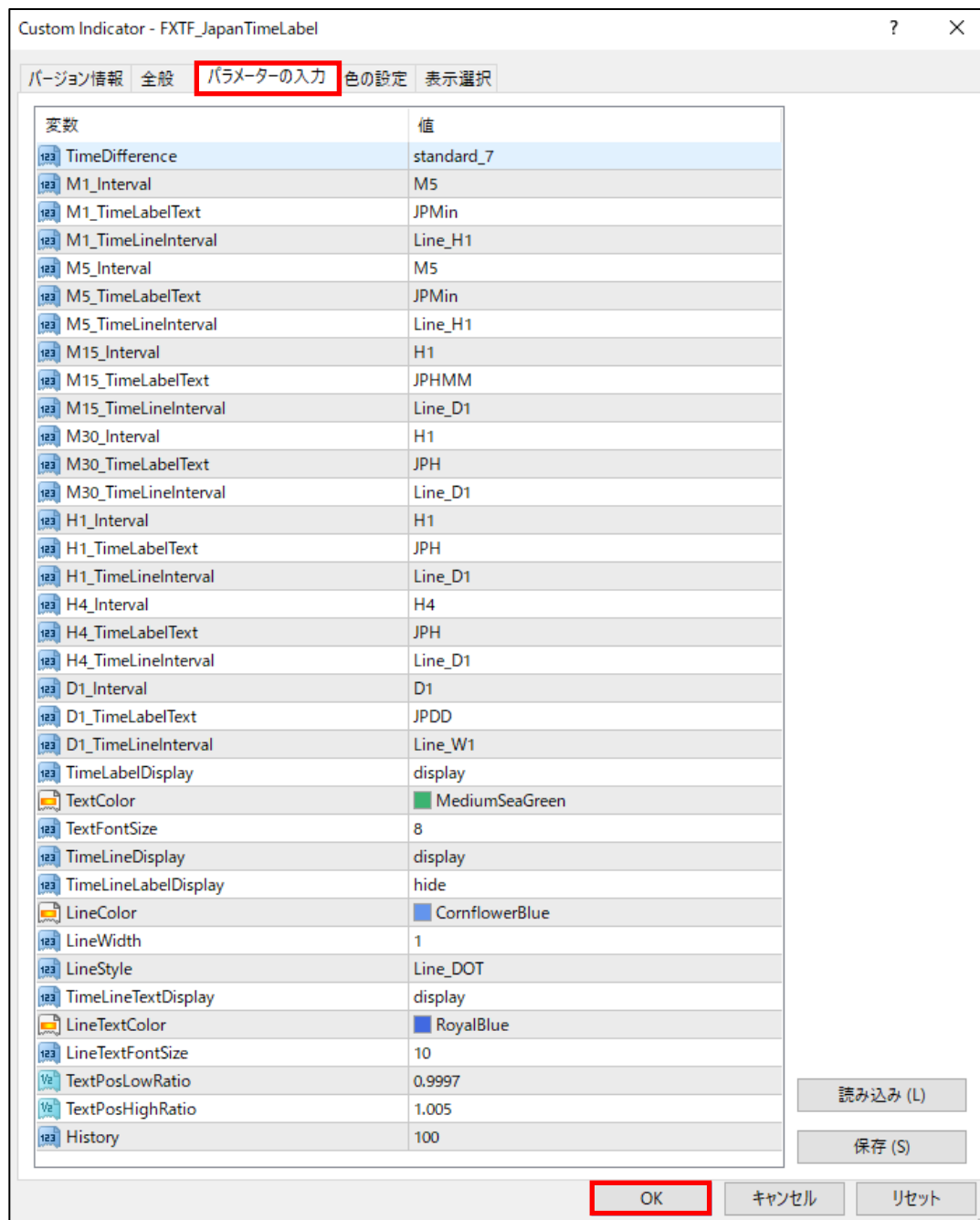


パラメータ設定ウィンドウの見方

「FXTF_JapanTimeLabel」は、パラメーター設定を変更することで各種のカスタマイズが可能です。

▼パラメータ設定ウィンドウを開く方法

チャートの右クリックメニュー「表示中のインディケータ」⇒「FXTF_JapanTimeLabel」を選択した状態で「編集」ボタンをクリックするとパラメータ設定ウィンドウが開きます。



TimeDifference	<p>MT4チャート時間と日本時間との時間差を設定します。</p> <p>standard_7 : 冬時間 (初期設定) summer_6 : 夏時間</p>
xx_Interval ※xx=M1~D1	<p>時間足ごとに日本時間表示ラベルの表示間隔を設定します。</p> <p>※1分足 (M1) ~日足 (D1) に対応しています。週足 (W1) ・月足 (MN) は非対応です。(ラベル表示無し)</p> <p>※間隔は対応する時間足以上で設定できます。例) 1時間足では1時間間隔 (H1)、4時間間隔 (H4) などに設定できますが、15分間隔 (M15) などでは設定できません。</p> <p>※間隔が狭すぎるとチャートの縮小時に見づらくなる場合がありますので、広めの間隔で設定するほか、フォントサイズを小さめにする、表示形式を「12:00」でなく「12」にしておくことなどをおすすめします。</p> <p>※初期設定： 1分足 (M1) = 5分間隔 (M5) 5分足 (M5) = 5分間隔 (M5) 15分足 (M15) = 1時間間隔 (H1) 30分足 (M30) = 1時間間隔 (H1) 1時間足 (H1) = 1時間間隔 (H1) 4時間足 (H4) = 4時間間隔 (H4) 日足 (D1) = 1日間隔 (D1)</p>
xx_TimeLabelText ※xx=M1~D1	<p>時間足ごとに日本時間表示ラベルの日時表示形式を設定します。</p> <p>※1分足 (M1) ~日足 (D1) に対応しています。週足 (W1) ・月足 (MN) は非対応です。(ラベル表示無し)</p> <p>※日時表示形式は自由に選択可能ですが、15分間隔であれば15,30,45または12:15,12:30,12:45など分表示のみ (JPMin)または時間+分 (JPHMM) とし、1時間間隔であれば時間のみ表示 (JPH)、1日間隔であれば日付のみ表示 (JPDD) など、チャートの時間足や日本時間表示ラベルの表示間隔に合った適切な日時表示形式を設定ください。</p> <p>※初期設定： 1分足 (M1) = 5分間隔 (M5) で分のみ表示 (JPMin) 5分足 (M5) = 5分間隔 (M5) で分のみ表示 (JPMin) 15分足 (M15) = 1時間間隔 (H1) で時間+分表示 (JPHMM) 30分足 (M30) = 1時間間隔 (H1) で時間のみ表示 (JPH) 1時間足 (H1) = 1時間間隔 (H1) で時間のみ表示 (JPH) 4時間足 (H4) = 4時間間隔 (H4) で時間のみ表示 (JPH) 日足 (D1) = 1日間隔 (D1) で日付のみ表示 (JPDD)</p>

<p>xx_TimeLineInterval ※xx=M1~D1</p>	<p>時間足ごとに期間区切り線（垂直ライン）の表示間隔を設定します。</p> <p>※1分足（M1）～日足（D1）に対応しています。 週足（W1）・月足（MN）は非対応です。（表示無し） ※間隔は対応する時間足以上で設定できます。 （1時間・4時間・1日・1週間） 例）4時間足では4時間間隔（Line_H4）、1日間隔（Line_D1）などに設定できますが、1時間間隔（H1）などでは設定できません。 ※間隔が狭すぎるとチャートの縮小時に見づらくなる場合がありますので、広めの間隔で設定することをおすすめします。 ※MT4標準の期間区切り線を非表示にしたいときは、チャートの右クリックメニュー「プロパティ」⇒プロパティウィンドウのタブ「全般」から「期間区切り表示」のチェックを外してください。</p> <p>また、MT4標準のグリッドは本ツールの初期設定では非表示となります。標準のグリッドを表示させたいときは、同じタブ「全般」から「グリッドの表示」にチェックを入れるか、本インディケータのパラメータ「ShowChartGrid」をdisplay（表示する）に設定してください。</p> <p>※初期設定： 1分足（M1） = 1時間間隔（Line_H1） 5分足（M5） = 1時間間隔（Line_H1） 15分足（M15） = 1日間隔（Line_D1） 30分足（M30） = 1日間隔（Line_D1） 1時間足（H1） = 1日間隔（Line_D1） 4時間足（H4） = 1日間隔（Line_D1） 日足（D1） = 1週間間隔（W1）※月曜日にラインを表示します。</p>
<p>TimeLabelDisplay</p>	<p>日本時間表示ラベルの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではdisplay（表示する）です。 ※display（表示する）／hide（非表示）から設定できます。</p> <p>※日本時間表示ラベルは、パラメータで設定した間隔・日時表示形式で対応するローソク足の安値付近に表示されるテキストラベルです。</p>
<p>TextColor</p>	<p>日本時間表示ラベルの色（カラー）を設定します。</p> <p>※初期設定ではMediumSeaGreen（緑）です。</p>
<p>TextCFontSize</p>	<p>日本時間表示ラベルのフォントサイズを設定します。</p> <p>※初期設定では8です。 ※大きいサイズを設定すると見やすくなりますが、チャートの縮小時に重なってしまい見づらくなる場合があります。その場合、日本時間表示ラベルの表示間隔を広くするか、フォントサイズを小さくするなどの設定をおすすめします。</p>

「FXTF_JapanTimeLabel」

TimeLineDisplay	<p>期間区切りラインの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではdiplay（表示する）です。 ※diplay（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※MT4標準の期間区切り線を非表示にしたいときは、チャートの右クリックメニュー「プロパティ」⇒プロパティウィンドウのタブ「全般」から「期間区切り表示」のチェックを外してください。</p> <p>また、MT4標準のグリッドは本ツールの初期設定では非表示となります。標準のグリッドを表示させたいときは、同じタブ「全般」から「グリッドの表示」にチェックを入れるか、本インディケータのパラメータ「ShowChartGrid」をdisplay（表示する）に設定してください。</p>
TimeLineLabelDisplay	<p>期間区切りライン下部の日時ラベルの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではhide（非表示）です。 ※diplay（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※diplay（表示する）とすると、チャート下部の日時目盛りに表示される垂直ラインに対応する日時ラベルが表示され、MT4標準の日時より上に表示されます。</p> <p>チャートを縮小しライン・ラベル同士が近くなると日時ラベルが重なり見づらくなる場合があるため、初期設定では期間区切りラインはhide（非表示）としています。</p>
LineColor	<p>期間区切りラインの色（カラー）を設定します。</p> <p>※初期設定ではCornflowerBlue（青）です。</p>
LineWidth	<p>期間区切りラインの太さを設定します。</p> <p>※初期設定では1です。</p>
LineStyle	<p>期間区切りラインのスタイルを設定します。</p> <p>※初期設定ではLine_DOT（短音線）です。 ※Line_SOLID（実線）、Line_DASH（長音線）、Line_DOT（単音線）、Line_DASHDOT（長音線と短音線）、Line_DASHDOTDOT（長音線と短音線・短音線）の中から選んで設定できます。</p>
TimeLineTextDisplay	<p>期間区切りラインの日時ラベルの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではdiplay（表示する）です。 ※diplay（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※期間区切りラインの日時ラベルは、対応するローソク足の高値付近に表示されるテキストラベルです。チャート下部の日時目盛りに表示されるラベルの表示・非表示を設定するのはパラメータ「TimeLineLabelDisplay」です。（初期設定：非表示） ※日時表示形式は、期間区切りラインの表示間隔ごとに自動的に設定されます。1時間・4時間間隔のときは時間+分形式、1日・1週間間隔のときは月日形式で表示されます。</p>

「FXTF_JapanTimeLabel」

TimeLineDisplay	<p>期間区切りラインの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではdiplay（表示する）です。 ※diplay（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※MT4標準の期間区切り線を非表示にしたいときは、チャートの右クリックメニュー「プロパティ」⇒プロパティウィンドウのタブ「全般」から「期間区切り表示」のチェックを外してください。 また、MT4標準のグリッドは本ツールの初期設定では非表示となります。標準のグリッドを表示させたいときは、同じタブ「全般」から「グリッドの表示」にチェックを入れるか、本インディケータのパラメータ「ShowChartGrid」をdisplay（表示する）に設定してください。</p>
TimeLineLabelDisplay	<p>期間区切りライン下部の日時ラベルの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではhide（非表示）です。 ※diplay（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※diplay（表示する）とすると、チャート下部の日時目盛りに表示される垂直ラインに対応する日時ラベルが表示され、MT4標準の日時より上に表示されます。</p> <p>チャートを縮小しライン・ラベル同士が近くなると日時ラベルが重なり見づらくなる場合があるため、初期設定では期間区切りラインはhide（非表示）としています。</p>
LineColor	<p>期間区切りラインの色（カラー）を設定します。</p> <p>※初期設定ではCornflowerBlue（青）です。</p>
LineWidth	<p>期間区切りラインの太さを設定します。</p> <p>※初期設定では1です。</p>
LineStyle	<p>期間区切りラインのスタイルを設定します。</p> <p>※初期設定ではLine_DOT（短音線）です。 ※Line_SOLID（実線）、Line_DASH（長音線）、Line_DOT（単音線）、Line_DASHDOT（長音線と短音線）、Line_DASHDOTDOT（長音線と短音線・短音線）の中から選択して設定できます。</p>

TimeLineTextDisplay	<p>期間区切りラインの日時ラベルの表示・非表示を設定します。</p> <p>※初期設定ではdisplay（表示する）です。 ※display（表示する）／hide（非表示）から設定できます。 ※期間区切りラインの日時ラベルは、対応するローソク足の高値付近に表示されるテキストラベルです。チャート下部の日時目盛りに表示されるラベルの表示・非表示を設定するのはパラメータ「TimeLineLabelDisplay」です。（初期設定：非表示） ※日時表示形式は、期間区切りラインの表示間隔ごとに自動的に設定されます。1時間・4時間間隔のときは時間+分形式、1日・1週間間隔のときは月日形式で表示されます。</p>
LineTextColor	<p>期間区切りラインの日時ラベルの色（カラー）を設定します。</p> <p>※初期設定ではRoyalBlueです。 ※黒背景チャートに表示させるときは、White（白）などに変更してお使いください。 ※期間区切りラインの日時ラベルは、対応するローソク足の高値付近に表示されるテキストラベルです。チャート下部の日時目盛りに表示されるラベルの表示・非表示を設定するのはパラメータ「TimeLineLabelDisplay」です。（初期設定：非表示）</p>
TextCFontSize	<p>期間区切りラインの日時ラベルのフォントサイズを設定します。</p> <p>※初期設定では10です。 ※大きいサイズを設定すると見やすくなりますが、チャートの縮小時に重なってしまい見づらくなる場合があります。その場合、期間区切りラインの表示間隔を広くするか、フォントサイズを小さくするなどの設定をおすすめします。 ※期間区切りラインの日時ラベルは、対応するローソク足の高値付近に表示されるテキストラベルです。チャート下部の日時目盛りに表示されるラベルの表示・非表示を設定するのはパラメータ「TimeLineLabelDisplay」です。（初期設定：非表示）</p>
TextPosLowRatio	<p>日本時間表示ラベルの表示位置を調整します。</p> <p>※初期設定では0.9997です。 ※日本時間表示ラベルは、対応するローソク足の安値付近に表示されます。「対応するチャート通貨ペアの安値の価格×TextPosLowRatio」の位置に表示されます。値を小さくするほどラベルの表示位置が下がりますが、行き過ぎるとチャート画面外に表示され見えなくなる場合があります。</p>
TextPosHighRatio	<p>期間区切りラインの日時ラベルの表示位置を調整します。</p> <p>※初期設定では1.0050です。 ※期間区切りラインの日時ラベルは、対応するローソク足の高値付近に表示されます。「対応するチャート通貨ペアの高値の価格×TextPosLowRatio」の位置に表示されます。値を大きくするほどラベルの表示位置が上がりますが、行き過ぎるとチャート画面外に表示され見えなくなる場合があります。</p>

History

インディケータの描画期間を設定します。

※初期設定では100期間（ローソク足100本分）です。
 ※過去のローソク足まで遡って表示したいときは、この値を大きくしてください。極端に大きい数値を設定すると、処理に時間がかかりMT4の動作が遅くなったりフリーズする場合がありますためご注意ください。

【MT4標準のグリッド】

MT4標準のグリッドを非表示としたいときは、チャートのプロパティから設定できます。

チャートの右クリックメニュー「プロパティ」⇒プロパティウィンドウのタブ「全般」



- ・「グリッドの表示」のチェックを外せば、MT4標準のグリッドを非表示とすることができます。
- ・「期間区切り表示」のチェックを外せば、MT4標準の期間区切りラインを非表示とし、「FXTF_JapanTimeLabel」の期間区切りラインのみを表示することができます。

当ツールは、お取引の参考となる情報の提供を目的とするもので、投資方針や時期選択などの最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。